

University Information

中央大学 CHUO UNIVERSITY

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 URL: https://www.chuo-u.ac.jp/



西川 可穂子 副学長
教学マネジメント・SDGs 担当

志決定ができる人材を育成。「既に企業との産学連携は始まっています。これからは産官学連携やリカレント教育にも一層注力していきます」と西川副学長。

また、T H Eインパクトランキングでは2年連続ランキングしている。「ゴール12」「ゴール16」はハイスコアだ。SDGs活動は、ランキング向上することを目的とはせず、本学が果たすべき社会的責務を追求してまいります(西川副学長)

昨今のコロナウイルスが猛威を振るう状況で、中央大学はICTを活用した教育研究システムと情報インフラの強化を進める。オンライン授業などの学生への経済支援に総額13億円の予算を確保したという。「本学の長い歴史の中で輩出してきた卒業生と連携しながら、この世界的な困難に立ち向かい、SDGs・Society5.0を支える人材の育成に邁進します」(西川副学長)



CHUO UNIVERSITY

世界基準の教育・研究基盤に。 大学の総力を挙げて、人類共通の目標に挑む

実学教育の伝統を継承しつつ、
大学が担うべき使命を追求

1885年の創設以来、実学教育を伝統とする中央大学は、「チオウキョウ地應用ノ素ヲ養フ」を建学の精神として、多様な研究と実践教育を通し、実社会で求められる「行動する知性」を養うことで、これまでに58万人を超える卒業生を輩出してきた。中長期事業計画「Chuo Vision 2025」を見据え、2019年度から重点政策としてSDGs達成に向けた取り組みの推進を掲げ、SDGsに資する研究基盤の整備や、学内ネットワークの強化が進んでいる。その一つが2020年1月に、西川可穂子教授が教学マネジメント・SDGs担当の副学長に着任したことだ。西川副学長は意気込みをこう語る。

「世界規模の課題に直面する今日、大学のパラダイムシフトが必要で、次世代を担う人材の育成だけでなく、大学の社会的責任を追求しなければなりません。本学は総合大学として、質の高い学際的なアプローチでSDGsに取り組んでいきます」

継続と革新で、新たな価値を生み出す人材の育成へ

中央大学は現代社会が抱える課題に応えるため、2019年4月に世界基準のビジネスリーダーを育成する「国際経営学部」と、グローバルな情報社会での活躍に必要な情報の仕組み・情報の法学・グローバル教養を体系的に学ぶ「国際情報学部」の2学部を設置した。

また、学びの拠点となるキャンパス体制の形成も加速している。多摩キャンパスは、豊かな自然環境のナチュラルなイメージとダイバーシティに富むグローバルキャンパスを目指す。その一環として、2020年4月にグローバルな教育研究が可能となる施設設備を整えた「グローバル館」と、オンキャンパスで生活と教育が融合

Chuo Vision 2025

2020年度重点政策

教育
社会の期待に応え、人類の福祉に貢献する力を備えた人材を育成するための総合的な実学教育の拠点の形成

研究
地球規模での複雑な諸問題の解決に寄与する専門的かつ学際的な研究拠点の形成

3 社会的責任を担う

4 国際化を推進する

9 持続可能な社会を実現する

17 持続可能な社会を実現する

社会貢献
特色ある教育研究に立脚した社会連携とヒューマンネットワーク拠点の形成

3 社会的責任を担う

4 国際化を推進する

5 持続可能な社会を実現する

10 持続可能な社会を実現する

キャンパス
人類の未来を拓き、常に新たな社会的価値を創出する総合キャンパスの構築

11 持続可能な社会を実現する

17 持続可能な社会を実現する

経営
本学の継続的な事業活動を支える揺るぎない経営基盤の確立

17 持続可能な社会を実現する

Chuo × SDGsを知るキーワード

□ 世界基準

① ダイバーシティセンター

「ダイバーシティ宣言」の「学びたいという希望を持つすべての人びとが差別なく集い、のびのびと学ぶことのできる学修環境を提供する」を具体化するため、障害、ジェンダー・セクシュアリティ、グローバルの3領域で包括的な学生支援を行う。

② AI・データサイエンスセンター

2020年4月、後楽園キャンパス内に設置。「一般社会からの人材養成のニーズに時機を逃さず対応するため、大学教育および産学連携を効率的に行うことを可能とする企画を立案し、その計画を着実に実施すること」を目的としている。3つのミッション(1)全学的リテラシー教育、(2)社会との共同研究、(3)社会貢献・連携事業を中心に行う。

③ GLOMAC × iTLでグローバル人材育成強化

2019年度に2つの学部を開設。「Be Ahead of the World.世界を動かす人になろう」、経営学・経済学に関する理論とその関連領域の教育研究を通じて、企業経営やグローバル経済に係る専門知識と高い語学運用能力を持ったグローバルビジネスリーダーの育成を目標とした国際経営学部が多摩キャンパスに。国際情報学部(iTL)は新宿区の市ヶ谷田町キャンパスに。「ITの世界にはまだ、ルールが足りない」、「『情報の仕組み』と『情報の法学』の融合(Information Technology & Law)」という新たな発想のもと、国際社会で活躍するために必要な「グローバル教養」を養うことで、Society 5.0を担う人材を養成する。



□ 地域貢献

● 奥多摩三村との地域連携型PBL

2019年度から開始した「SDGsを実践するビジネス人材の育成」と題した教育プログラム。檜原村・小菅村・丹波山村の地域資源と、大学近隣企業が持つ技術を組み合わせ、学生が企画立案、実現に向け、地域コミュニティに滞在する課題解決に挑む。2020年度も中央大学の学生が工夫を凝らして3村の魅力を発信する予定。



□ グローバルキャンパス

● 中大初・オンキャンパス「国際教育寮」開設

2020年4月に多摩キャンパス内に300室の混住型国際教育寮を開設。1ユニット6人で構成され、多様な文化背景を持つ学生たちが共同で生活。寮のコンセプトは、「多様性に富む国際教育寮での生活や交流を通して、さまざまな文化背景を持つ学生たちの多様な学びを促進すること」



● 学部共通棟×CLT工法で地域活性化

2021年多摩キャンパス内に6階建ての学部共通棟を新築するプロジェクト。鉄骨造に円形断面や角型の耐火集成材やCLT(Cross Laminated Timber)という木材による丈夫な素材を使用した、混構造の計画。多摩産材等の木材を用いた先導的な技術が施されている。



□ イノベーション：産学官連携

包括連携により持続可能な社会の実現を加速

① 沖電気工業(株)と包括連携に関する基本協定を締結

「AI・データサイエンス社会実装ラボ」を開設し、AI・データサイエンス分野をリードできるような人材を生み出す実践的教育プログラムを開発するとともに、産学協働オープンイノベーションの実施により、AI・データサイエンス分野の技術の社会実装を進めていく。

② フォルトゥナ・デュッセルドルフと日本初のカレッジ・パートナーシップを締結

2020年度からドイツ「ブンデスリーガ」1部に所属するフォルトゥナ・デュッセルドルフと提携し、中央大学商学部はサッカークラブ経営の最先端を学ぶ講座を開講。スポーツビジネスに関する実践的な教育を展開し、スポーツビジネスの発展と真のスポーツ文化の醸成に寄与することを目指す。

③ 警視庁・LINE・メルカリとサイバーセキュリティ人材育成に向けて協定締結

サイバーセキュリティの重要性を鑑み、今後必要とされる人的資源、知的資源の育成に向け、産・学・官の各立場から相互協力を推進し、サイバーセキュリティ人材の育成および社会発展に寄与していく。

Chuo Online

SDGs達成に向けた大学の役割や研究の重要性をテーマに、教員の記事を紹介しています。
https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/feature/sdg.php



Chuo×SDGs

SDGsの17のテーマに即した取り組みを一覧で紹介しています。
https://www.chuo-u.ac.jp/usr/sdgs/

